

## 磐梯山の火山活動解説資料（平成 28 年 7 月）

仙台管区気象台  
地域火山監視・警報センター

山頂付近を震源とする地震が一時的に増加しましたが、その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図 1、図 2-①）

剣ヶ峯に設置している遠望カメラによる観測では、山体北側火口壁の噴気の高さは 100m 以下で、噴気活動は低調に経過しました。

#### ・地震や微動の発生状況（図 2-②～⑥、図 3）

12 日に、山頂付近を震源とする地震が 10 回/日と一時的に増加しましたが、そのほかの期間は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図 4、図 6）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 磐梯山 山体北側火口壁の噴気の状況（7 月 16 日）

- ・ 剣ヶ峯（山頂の北約 7km）に設置している遠望カメラの映像です。
- ・ 実線赤丸で囲んだ部分が山体北側火口壁からの噴気で、この時観測された噴気の高さは 100m です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 28 年 8 月分）は平成 28 年 9 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。

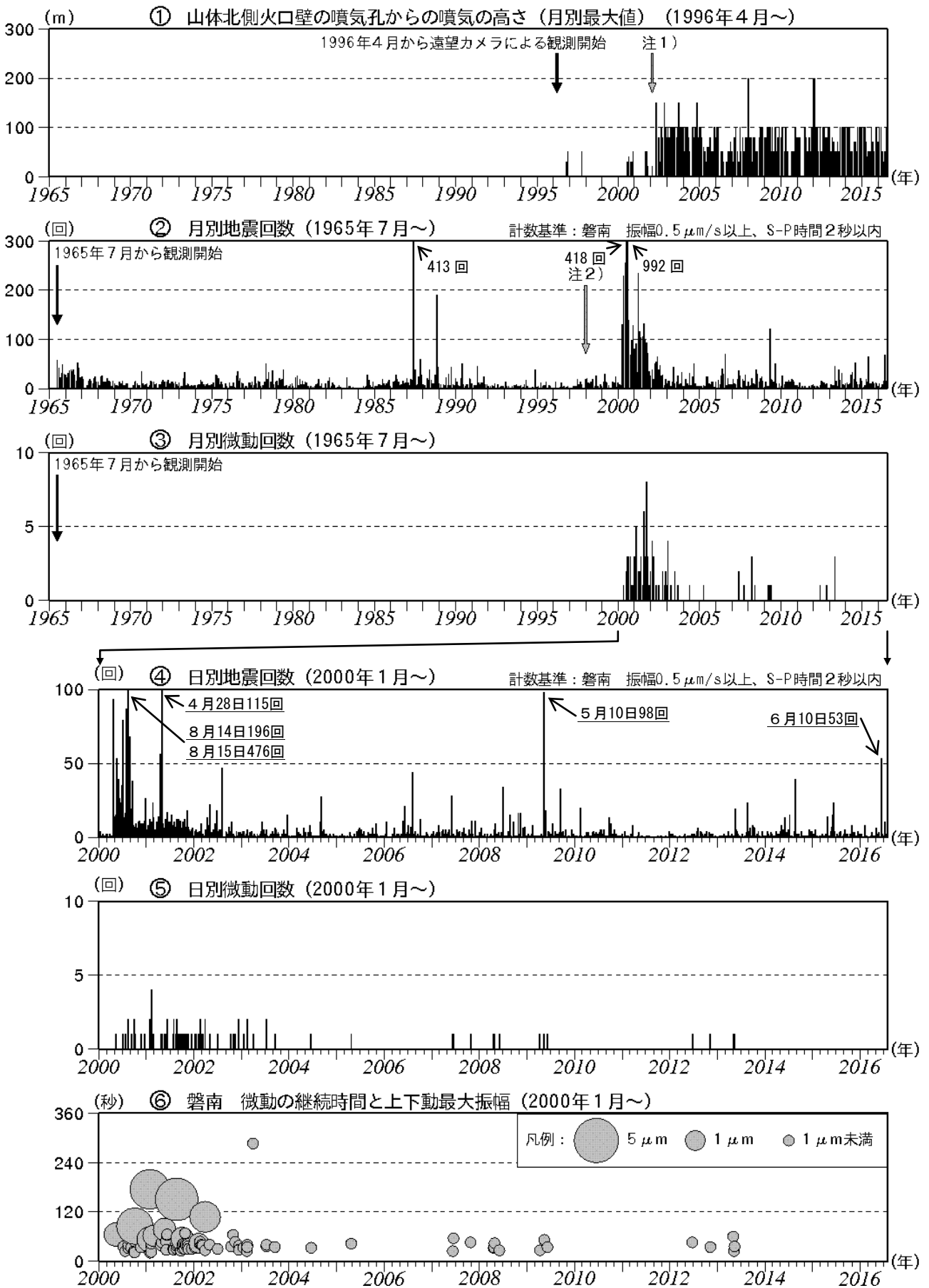


図2 磐梯山 火山活動経過図（1965年7月～2016年7月）

- ・①注1) 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さ、2002年3月以後は24時間観測による高さです。
- ・②注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。

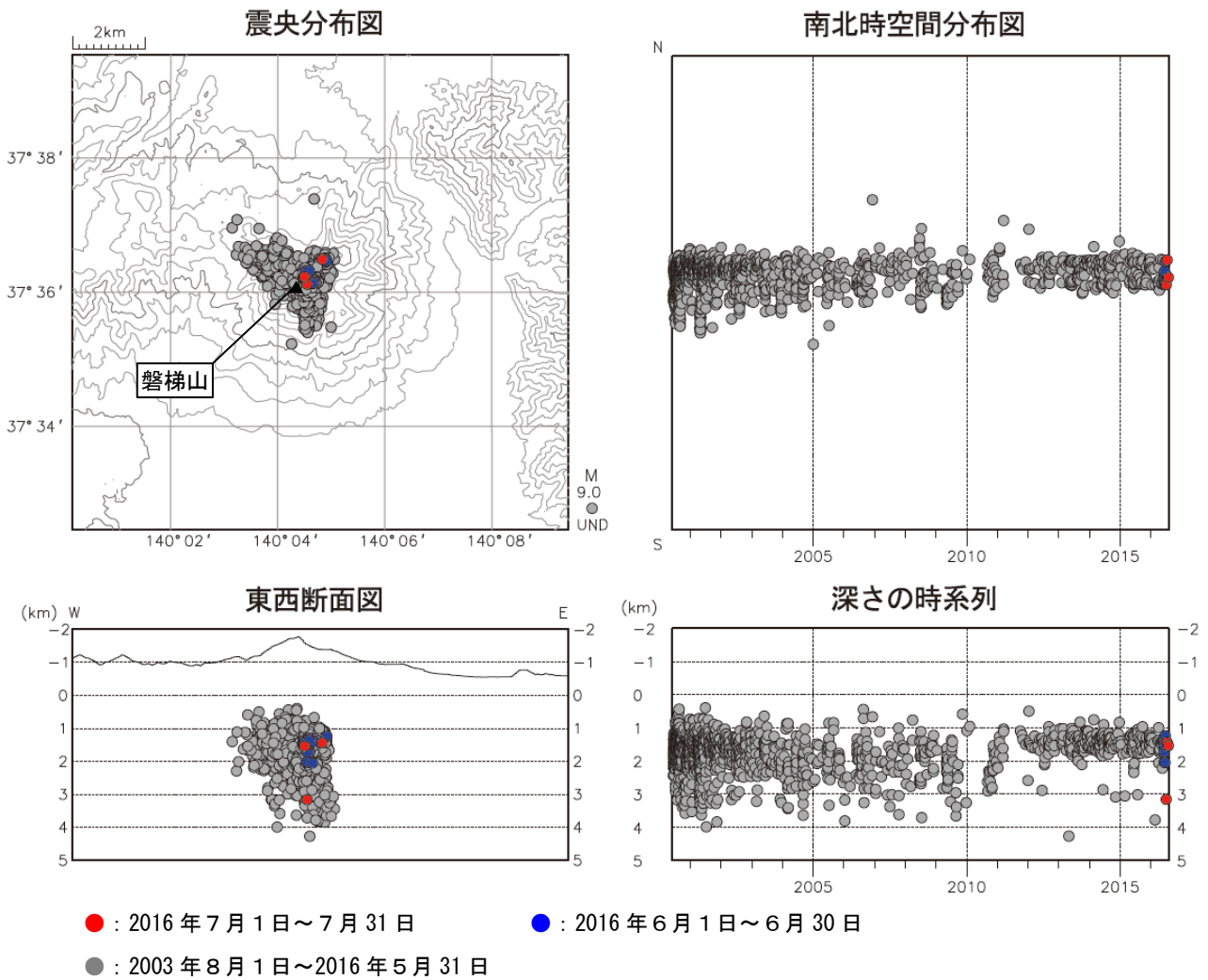


図3 磐梯山 地震活動（2000年6月～2016年7月）

・12日に、山頂付近を震源とする地震が一時的に増加しました。

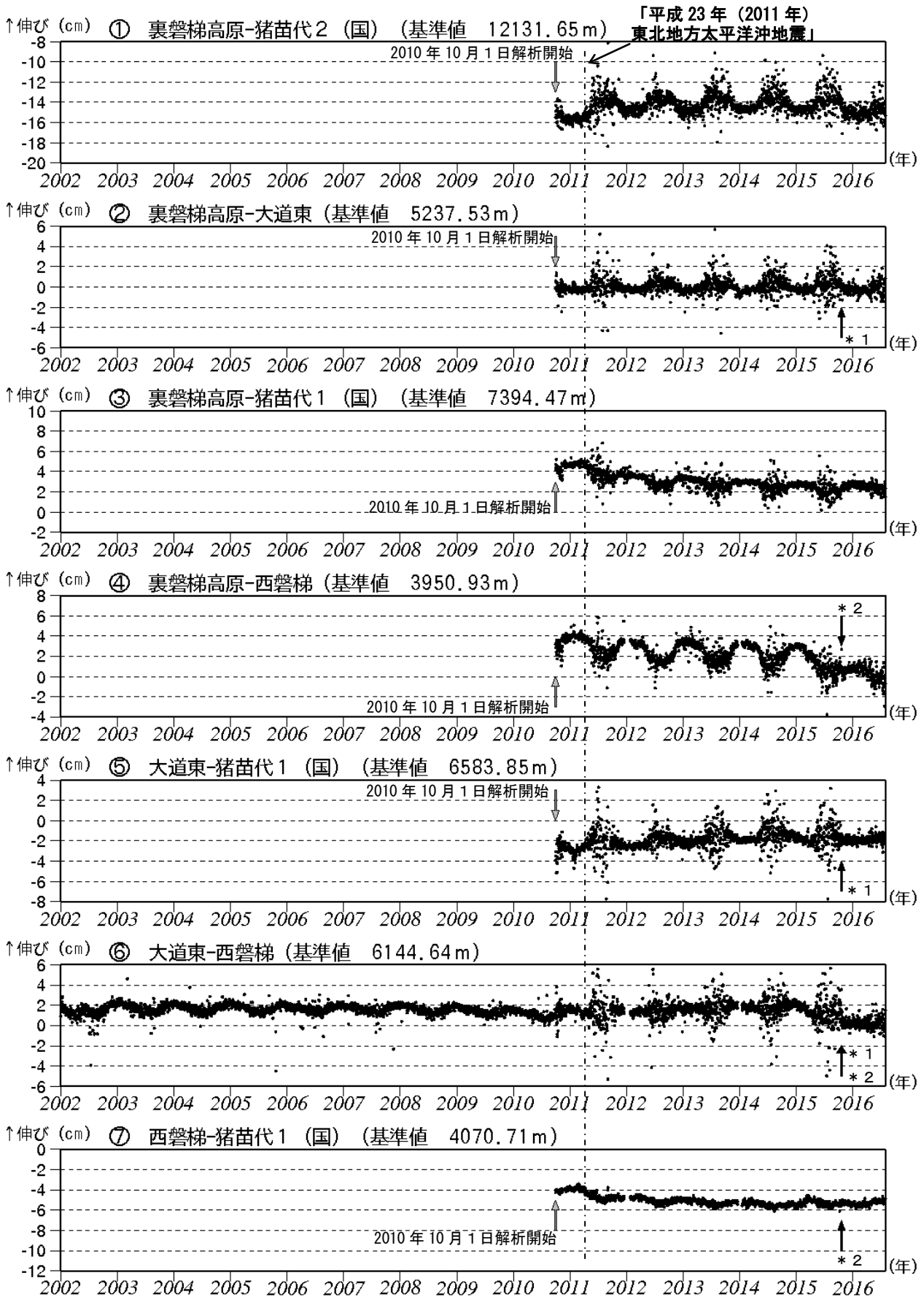


図4 磐梯山 GNSS<sup>1)</sup> 基線長変化図 (2002年1月～2016年7月)

1) GNSSとはGlobal Navigation Satellite Systemsの略称で、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示します。

- ・2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
- ・「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・①～⑦は図6のGNSS基線①～⑦に対応しています。・グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。・(国)は国土地理院の観測点を示します。

\* 1 大道東観測点の機器を更新し、移設を行いました。 \* 2 西磐梯観測点の機器を更新しました。

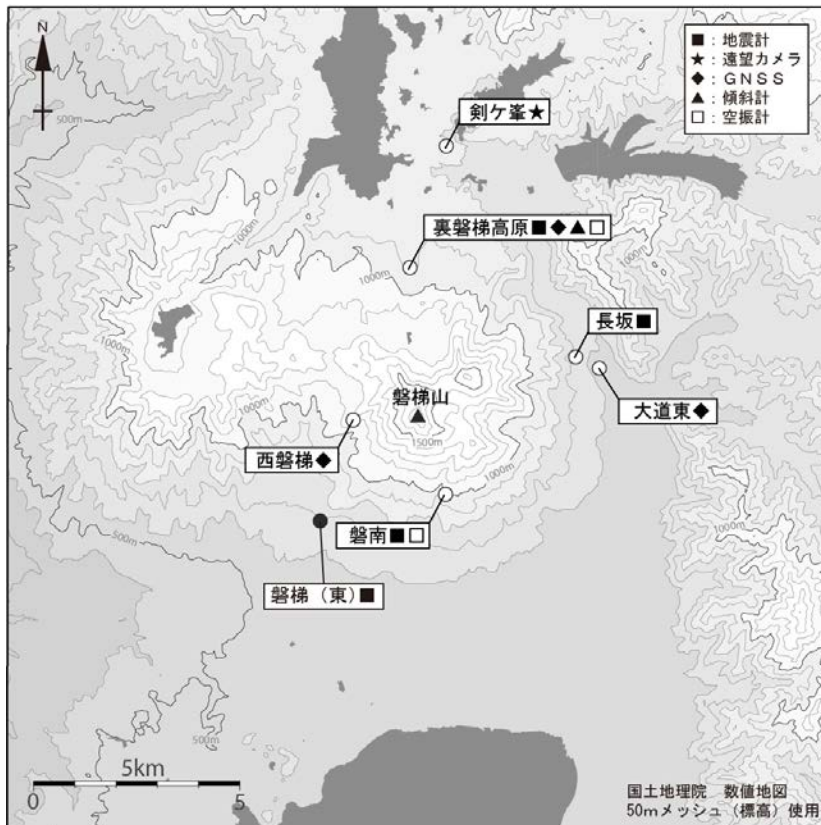


図5 磐梯山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
（東）：東北大学

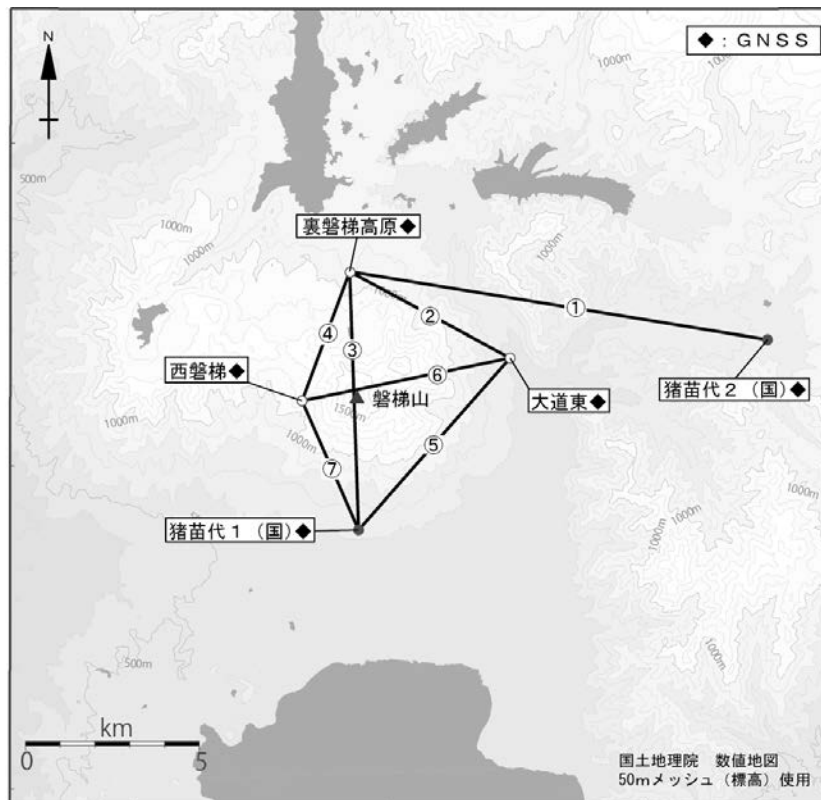


図6 磐梯山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
（国）：国土地理院